



# 佐高 SGH通信 2020

スーパー グローバル ハイスクール

No.5 (2020年6月10日発行)

## 宇都宮大学のオンライン講座を受講しました ～SGH マレーシア班の高校生がウェビナー※受講～

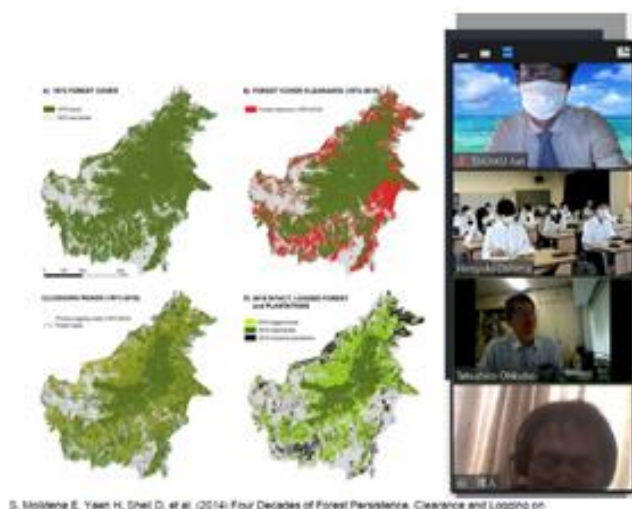
※ウェビナー…ウェビナー (Webinar) とは、ウェブとセミナーを組み合わせた言葉で、セミナー動画をインターネットで配信する形式を指し、オンラインセミナーと呼ばれることもあります。場所や人数に縛られず開催でき、放送大学等と違って、双方向でのコミュニケーションが可能です。



令和2(2020)年6月3日(水)16～17時に、SGHマレーシア班の高校1,2年生14名が、画面対話を行うアプリであるZoomを使って、インターネット上で双方向型の講座を受講しました。講師は宇都宮大学農学部教授の大久保達弘先生です。課題研究を進めるにあたっては、研究に直接関連しなくても、マレーシアの地理や民族など、基礎的な知識を身につけることが必要です。これまで佐高生が宇都宮大学の研究室をお邪魔していた時は佐野高校から片道90分を要しましたが、オンラインではそれがゼロになりました。質疑応答もできるので、とても有意義な時間になりました。

### ◇講座内容紹介

講師 大久保達弘先生(宇都宮大学農学部教授)  
演題 「マレーシア・サラワクの地理・民族・教育・自然」  
1回目の今回は特に地理と民族について学びました。※レジュメは事前にオンラインで入手済



S. Moldena, E. Yean, H. Shell, D. et al. (2014) Four Decades of Forest Persistence, Clearance and Logging on

### ◇高校生の感想から

- ・「距離が遠いからか、細かな反応が拾われないので、シャイな私達日本人がマレーシアの人々と交流していく中でもっとこういう風にしなくちゃなど、これからのことを想像できました。」(2年 内田 小温)
- ・「自分がこれからどのような研究をしていきたいのか考えながら話を聴くことができました。また、大久保先生に昨年度の研究の感想を聞いていただくことができたのが特によかったです。」(2年 相田 紘夏)  
※注 新型コロナウイルス情勢のために、研究成果を大久保先生に直接伝える機会が無かった。
- ・「マレーシアについて知ることができた。また、研究の内容の高さには驚いた。自分もここまでできるようになりたい。」(1年 磯崎 新太)
- ・「ボルネオ島は本州より多いなど他の国に目を向けると様々な発見があってとても興味深かった。より深い部分を知りたい、という気持ちが高まった。」(1年 小松崎 寛人)
- ・「Zoomで講義を受けるという貴重な経験ができて、本当に良かったです。マレーシアについての歴史など、詳しく知らなかったことが知れたので、本当におもしろく、勉強になりました。」(1年 中塚 麻耶)
- ・「本格的な海外についての講義を聴いてとても刺激を受けました。マレーシアの民俗・歴史・地理について学ぶことができ、異文化理解についての第一歩になりました。」(1年 山崎 彩加)
- ・「どのような動きで講義が進むのか不安でしたが、自分なりに内容を消化できました。サラワクは、日本に近い所だと思いました。詳しい資料も頂き、もっと多くの事を知りたいと思いました。」(1年 影山 結麻)